

高校生ICT Conference 2021 in 石川 を開催



会場(事務局)の様子

総務省は、令和3年10月3日(日)、金沢市内のITビジネスプラザ武蔵において、高校生ICTカンファレンス実行委員会(実行委員長 米田 謙三)とともに、高校生によるワークショップ「高校生ICT Conference 2021 in 石川」を開催し、石川県内の3校から生徒20名がオンラインにより参加しました。

高校生ICT Conferenceは、電気通信事業者団体・企業・有識者・関係府省庁が連携し、青少年のインターネット利用環境整備を目指した事業として2011年から毎年度開催しているもので、今年度は全国17カ所で開催予定となっています。

当日は、石川県立金沢向陽高校の林道雄先生の司会により、当局の傳田剛電気通信事業課長が挨拶した後、第一部では、KDDI株式会社北陸総支社管理部の細川一人マネージャーが「5Gって何?」と題して講演しました。

第二部では、参加者を4つの班に編成し、「フェイクを見極める」をテーマにオンライン形式により議論を行いました。現在、ネット上ではフェイク(偽)があふれており、だまされないためにはどうすれば良いか、自分が加害者にならないためにはどうすれば良いか、などの論点を中心に議論を進めました。各班ではそれらの議論を踏まえ、自分たちができることや学校、企業、政府に望むことなどを整理して提言を発表しました。

最後に、金沢大学大学院教職実践研究科の加藤隆弘准教授が全体を講評し、「本日も初めて会った人たちとオンラインで議論し、また様々なICTツールを使用したことは、皆さんが将来社会へ出た時、いろいろな場面で生かされ良い経験となる。フェイクがテーマだったが、例えば友達が言っていたことが正しいとは限らない。科学的、合理的に判断できる情報に強い人になってほしい。」とのメッセージで、「高校生ICT Conference 2021 in 石川」を締めくくりました。

なお、各班で取りまとめられた提言は、石川代表に選出された小松大谷高校の津村ゆかさんから11月3日(水・祝)に開催される「高校生ICT Conference 2021 in サミット※」において発表される予定です。

※ 昨年度の「高校生ICT Conference 2020 in サミット」の概要は次のホームページに掲載されています。
<https://www.good-net.jp/ict-conference/2020/tokyo2020/>



オンラインでの参加者の様子